

令和7年度 学校運営協議会 報告

1 長陵祭参観（校内展示を参観、一部委員は午前ステージ発表も参観）

2 校長挨拶

学校行事、生徒の学業成績、進路状況（卒業・入学の状況や進路内定率が前年比で上昇したこと、就職選考がより慎重になっている傾向など）を説明。長陵祭も本校の生徒らしさが出ているのではないかと。剣道部、バドミントン部、柔道部といった運動部の好成績を修めている。学校が直面する生徒の欠席率の高さに対応するため、生徒が安心できる環境づくりと教員の研修に注力している。

3 委員より長陵祭の感想、意見

(1) 長陵祭の様子

- ・ 生徒同士の関わりやコミュニケーションが、例年よりも多いと思った。
- ・ 来場者や生徒同士での話し方や関わり方が、非常に上手になったという印象が持っている。
- ・ 文化祭は手作り感があり、とても良いと感じた。
- ・ 普段の授業ではなかなかクラス単位で動く時間がない中で、この行事は集団のまとまりを作るために本当に良い教育の機会ではないか。
- ・ 年々、生徒同士の密度が濃くなるというか、一緒に楽しむ様子が見られ、活気が増していると感じています。
- ・ イベント全体が年々洗練されているというイメージがあります。
- ・ 自分の子がとても楽しそうに活動している様子を見ることができ、この学校に通わせて良かったと再認識した。

(2) 公開範囲の現状と懸念

- ・ これほど手作り感があり学びのある活動が広く知られていないのは「もったいない」と感じています。
- ・ できるだけ多くの生徒や地域の方々に見てほしいと思うが、無制限に入場を認めると混乱もあることは承知している。
- ・ 学校の立地条件が良いこと、そして「今後の生き方」を考えたときにこの学校のあり方は非常に大切であるため、もっと地域の方に見ていただきたいという思いを痛感した。

（具体的な提言）

- ・ 中学の先生などを招待することは考えられているか。
- ・ 完全に不特定多数に解放するのは大変なため、例えば、地域で影響力のある方々を招待する方法はないか。
- ・ （公開授業時の）中学校教諭の人数が増えていくことによって、地域からの受け止めが変わり、本校に通いたいと思う子どもたちのきっかけになるのではないかと期待している。

(3) 教育的な取り組み

- ・ 自分が所属する場所があり、そこで安心して過ごせることは非常に貴重であり、この学校の生徒はとても恵まれていると感じた。
- ・ 今年は特に1年生の探究の時間の展示が印象に残った。SDGsのような形で課題設定をしながら、それぞれが興味のあるところを探究していくという発表を評価している。
- ・ これは、深めていく手続きを個々に学習できる仕組みを作っていること、また先生方が生徒を学びに向かわせるための仕掛けを随所に散りばめている証拠だと捉えられている。
- ・ 生徒は自分なりにテーマを設定しており、「健康」に目を向けたり、「登校するためには」といった具体的な課題を設定したりしている点が素晴らしい。